京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

發行所　京城新報社　仁川支局　東京支局

●歯の養生法

ござをかしました御家に成りますと殆ど御子さん方を菓子攻めにして居られる御方が御座います朝御目醒めに御菓子、御飯と御飯の間に御菓子、ワーンと泣いても御菓子、御客の御請伴に御菓子、床へヤンヤに御菓子と云ふ風に朝から晩まで菓子攻めと云ふ有様で御座いますから固くもない乳歯は何時の間にか蝕歯と成る痛みは起る子供は泣く泣けば又御菓子と云ふ事に成りますのでつまり子供方の蝕歯は例へば痛みは無くとも早期に充塡すると云ふ事が最も大事で御座います

齒を拔た爲めに目的を變る……之も矢張大學病院の外來患者で年の頃十八九の中學生將來は威風堂々たる海軍士官を夢見つゝ日夜兵學校の入學試驗の準備に勉強して居たが或日の事齒科の健康診斷を受けに來ましたので能く診査して見ますると蝕齒が七本、欠損齒が四本と云ふ有様なので仲々甲種合格は出來そふもない其事を此學生に話ました處が學生曰く……齒位の事で躰格が甲種に成らないとは實に殘念若し今度躰格で落第したら目的を變へるより外はない……と蓋し我々專門家の耳には其言葉が非常に意味深く聞こゑたので御座います。

齒は成可く拔かない方が宜敷……と申のは我々專門醫術が年々歳々進歩發達して目下健全な齒根をさへ有すれば我々の技術に依て思ふまゝに義齒を適合する事が出來るからで御座います私は嘗て赤十字社の長野支部病院に居りました折に十二歳の男子で齒が二重に生て居るのを移殖致しました事が御座いますす齒牙移殖術と申ますのは當時の日本でもまた實驗報告をした人はなかつたと存じますが私が長野の赤十字病院で好成績を得ました事を新聞や雜誌で報告されて以來長野縣では其後私等同業者間にも一二名移殖術を行つた者が出來ましたが此移殖術と申ますのは右の齒を左に左の齒を右に或は上の齒を下に下の齒を上と云ふ風に自身の齒を移殖するのです以上御話致しました様な事も私共の手術や技術に依つて調整が出來るので御座いますから例へば一本の齒根でも亦た亂排齒でも猥りに拔去すると云ふ事は一寸御熟考を願い度いので御座います

二年間患つた鼻の病氣が一週間で治る　四十三歳の商人が或る鼻が惡いと云ふので耳鼻咽喉科の診察を受けた處が耳鼻科の醫師は電氣透照等の結果其患者の原因が耳鼻には關係がないと云ふ事を確めて齒科へ送られたので御座いますが偖て齒科でも其原因が仲々不明でどうしても原因を見出す事が出來ません併し患者の話に……私は或素人から此の齒に曾てゴムを充塡して貰ひました……と云ふ話に不圖氣が附きまして此ゴムを取り除けて齲齒の中を能く反射鏡で照して見ますと齒根が二つに折れて居るのが明瞭に見へますので私は直に耳鼻科へ患者を連れて參り耳鼻科の醫師と二人で此の齒を拔去ましたが果して齒根の一本は折れて齒槽突起の中に有りますので序に之も拔去致しましたが拔去後の傷が一週間で治ると同時に二年間の鼻の病も拭ひ去つた樣に全治したので御座いますどうも齒科の事は素人治療や無消毒の器械などで致しますと思ひ懸けない災難に逢ふ事が往々有るので其邊の注意が必要で御座います

文苑

●時雨七句

瀟々と降るに露伴三叉鳴雪愛山の四氏に御無沙汰を思ふて　野崎小蟹

○時雨雲大空覆ふや灰色に
寒巌枯木に聲ありて片時雨
軍扇は鹽如意は柱時雨を知らず
時雨衝いて諸砲と出づる勇ありや
頼章の鶏時雨を呼ばんずる
窓に白楊樹酒器皆を帯ぶ時雨宿
○時雨よそに牛飼村の子守唄

外事一束

▲ロ氏●●がタ氏の反目的態度は頃者益顯著となり公然明年の大統領選擧には

▲聲援●をタ氏に與へずと云ひ爲に。氏の機關紙ロ氏大統領當時の失政を掲

▲米議●會開院式にトラスト及關税に關する約五百字の教書を朗讀せりと云ふ

▲墨革●命軍の主目的はマデロ大統領を倒しレース將軍を擧げんとするに在

▲日本●通の學者にて且日本文學史の著者として有名なるアストン氏逝去す

▲佛國●諸新聞英外相が英佛兩國間に秘密條約の締結なしとの言明に失望す

▲海軍●の大改革英に行はれ海軍卿下院に說明して日海軍二卿の退職に依り

▲異動●起る新命者には自由の手腕を揮はしむべく又來春早々在重要計劃と

▲駐土●露大使土政府にトリポリ問題解決を期する爲伊と談判開始を注告す

新年和歌募集

勅題「松上鶴」　選者九皐館去留



一、一人にて何首にても宜敷、用紙用箋は御隨意の事、但投詠者は住所氏名御明記の事

一、締切期限來る十二月二十日

一、發表は四十五年一月元旦の本紙上を以てす

右は例年の通り勅題和歌募集致候に付同好の御方は揮つて御投詠あらんことを

京城新報編輯局

新刊紹介

▲俳諧（第一卷三號）　古人の句評釋古文新釋等は俳句研究者の好參考たり此外俳諧に關する有益の記事彩し（一冊十錢東京市本鄉森川町文益社）

▲銃獵界（七卷十一號）　獵界唯一の雜誌だけありて斯道に志ある人は之を讀みて稗益する所少なからざるべし（一部十二錢横濱市本町二丁目金丸銃砲店）

▲少年（十二月號）　少年雜誌中の白眉誌面の体裁の完備插畫の多き事等は否はずもかな記事悉く教訓と趣味を兼備せり（一冊十錢東京市京橋區南鍋町二丁目時事新報社）

▲政友（百三十五號）　吾燕内閣は如何にして今日の時局に應じ責任内閣を果すべき乎（井上角五郎）清國革命軍に就て（小川平吉）を載せたり（東京市芝公園立憲政友會報告一部十五錢）

▲東洋時報（百五十八號）　『清國革命時局史』野原技師の『幽質改良案』自李生の『大平洋に於ける和蘭の現在及將來』等を始め植民上參考となる可記事多し（東京市麴町區內山下町東洋協會）

▲繪葉書世界（十一月號）　体裁印刷美に美を極め記事は例によつて繪葉書趣味の皷吹に努む（一冊十錢東京市神田區柳原川岸永井三星堂）

梁川庄八（やながはしやうはち）

小金井蘆洲演

第四十八回

た波は泣聲を出して　波『夫んな無法を仰しやらずに然う云譯なら、何うぞ親共に御掛合を願ます、阿父さんが何とか御挨拶を致しませう』新『馬鹿を云へ、其方の親仁の處へは乃公が行かんでも媒介人に、立て下すつた山田齋藤兩人が參いてくれる、是非其方を拐敷へ引立てねばならん、何は兎もあれ屋敷へ來い傍に聞て居りました、吉兵衛の女房が莞爾と笑を含みながら　女『大分御酒機嫌御酩酊の御容子でございます年齡も行かぬ者に途中に於ての御難題、些と御顏に關りませう、妾は立花屋吉兵衛の家内で、此娘がためには姑でございます此娘は悴の嫁でござりますから、貴方樣が嫁を連れて被入つしやうと云ふのは御無態ではございませんか、何卒只今波の申ました通り、實家の方へ御掛合を下さいますよう、夫で埒が明きませんければ、夫吉兵衛へ御掛合に成まするとも、夫れは思召次第に遊ばしませ、妾の夫吉兵衛は御城內の御用を達して居ります者で、何とか御顏の立ちますやう取計らうでございませう、何うぞ此娘には御構で下さりますな』女ながらも却々丈夫したものだ、立花屋の姑に云込められて、傍に聽いて居た山田齋藤兩人大に怒り　兩人『婆ァ手前が口を出す所ぢやあない默つて引込んで居ろ、何だ生意氣な事を吐かしやあがつて、良夫は御用達町人だと御用達町人が何とした、此老耄婆アめ御用達町人と云へば町方では巾が利くか知らんが、城內の我々に對し夫を鼻に掛けるとは烏滸々々間敷い婆アだ』女『何と仰しやいましても是娘は悴の嫁でございます、御渡し申す譯には參りませぬ』兩人『喧ましいやい、假令北浦氏が宜くつても我々兩人が勘辨がならぬ、と云譯は上總屋與兵衛の爲には我々兩人共熱湯を飲まされたのだ、町人の分際で堂々たる城內の暦々を僞り、勝手に縁組をするとは不埒千萬、實に此北浦氏に對して一言の申譯がない、貴樣は彼此云はずに引込んでおれ』新『婆ア手前は何も懸り合はないのだ默つておれ』女『イーへ手前共の死水を取て貰うと云大事な嫁、何で懸り合がないと仰しやいます、此娘を貴方に御引渡し致しましては悴や良夫に對して申譯が御座いません、何うか夫んな御無理を仰しやいませんで』兩人『無理とは何んだ此婆ァめ』女『御無理でございませう』と流石は堅氣な商人の女房、嚙つさばかりに怒氣を現はし、突然娘の手を引立てやうとする　新『何を仕やあがる此婆ァめ洒落臭い奴だ』と元より血氣に逸る北浦新吾、立花屋吉兵衛の妻の胸を力任せに突いた、突飛ばされてひよろ〳〵と蹌けてドット後に尻餅を突く、波『あれ阿母さんを』と云のを睨つと手首を掴つて動かさない、只管然と泣くばかり、此押問答を最前から掛茶屋の床几に腰を掛け、聽いて居りました梁川庄八、何うも斯う云事を見ては捨て置けない氣質だ三人の所業は如何にも大人しからぬ事だ、此儘打捨て置かば遂には何を亂暴を働かない者でもない彼の若侍に意見を加へ、次第に依つたら打据へて懲らしてやろう、彼の女を助けて遣さうと考へましたから、所突其場に現はれ出で、北浦始め三人の若侍に向ひ　庄『最前より彼處に於て承はつて居たが、何か各々方には一分が立つとか立たぬとか申して、女子供を捉へて窘めて居らるゝ容子だが、婦女子を捉へて彼是申した所が譯の明かぬ話ではござらんか、又一向存ぜんと云者に難題を申掛るとは武士の本分ではござるまい、某は城外に逗留して居る浪人者



見るに見かねて仲裁を致す、早々女子共を御歸しなされては如何でござる』北浦新吾勃然として　新『何も其方の知つた事ではない、拙者共へ對して意見ケ間敷い唯今の一言無禮ではないか、成程外見は拙者共が無法のやうに思うかは知らんが、假初にも武士を欺き決して他へは嫁がせんと約束をして置きながら、其舌の根の乾かぬ中に他へ縁付けて、斯く申す北浦新吾に耻辱を與へたのだ、何ぞて勘辨のなるべきや、本來なら其許も共々此女子を引立呉れるが、武士の情合である者を、然るに無法の女子を憫み却つて拙者共を無法千萬ぢやなぞと引込んで居られい』庄『イヤ引込んで居る事は出來ぬ、各々方の顏に關ると思ふから仲裁致すのだ、當人共が不承知だと云ふに無理に伴ふて行くと云のは拐帶……』新『ナニ拐帶とは何事ぢや……』庄『去れば得心のない者を御連れになれば拐帶に相違あるまい

東京電報

▲霞ヶ關の活動？ 松井外務省參事官四日午後三時四十分新橋發列車にて北京に向ひ急行せり官革兩軍仲裁に關する重大要務を帶びたりと傳ふ

▲日本の居中調停 淸國動亂に關し傍觀の態度を執れる我國は英國と共に居中調停の勞を執ることに決したりといふ

▲大倉組組織變更 東京銀座に本店を有し大倉喜八郎氏の經營になる土木請負合名會社大倉組は今回組織を變更し株式會社大倉組と稱することに登記せり

▲增遣守備隊着淸 我北淸增遣隊は三日無事秦皇島に到着せり

▲南京占領公報 四日朝其筋着公報によれば革命軍は二日朝南京城門を破壞し鎭江都督「ツンジツキ」は部下數千名を率ひ太平門より他の一隊は義實門（？）より意氣揚々と入城何等抵抗なく南京城を確實に占領せり革命軍の入城するや市民は白旗を揭げ歡迎せり△官軍の多數は前夜浦口に逃れたる爲め死傷者少く降服者多數也△「ツンジツキ」直ちに都督の任に就き新政を布く旨告示せり△兩軍は三日間休戰を爲すべく協議中にあり△居留民は各國人共皆無事也

▲北京より歸客談 三日北京より歸來せる藤田文學士及大原府師範學堂敎習島田外一名の談る所によれば北京に於ては南京の形勢官軍に不利なりしに加へて吏部衙門失火したるより種々の風說を產みたるが右は革命黨の放火なりと傳へられ延ひて宮城に火災を起し皇帝は西安に蒙塵せられたりとさへ訛傳せしが袁世凱入京と共に各城門各要所に精銳なる機關砲据付けられ戒嚴令を布き警戒嚴重となり北京の人心漸く靜謐に歸したるが一時は張紹曾の率ゆる灤州兵又大原兵も入京すべしとの風說ありて大恐慌を惹起したるも孰れも遂に入込まず天津北京間は至極平穩なり唯だ通貨不足の爲め經濟界の不振を來たしつゝあるが今後假令北京に變事ありとするも日本よりの出兵は容易なることなれば一般居留民は安堵しをれり

▲革軍の政府計畫 支那革命軍の內閣近く組織さるべく孫逸仙大統領となり黎元洪總理大臣たるべしといふ

上海電報

▲庫倫の獨立宣言 蒙古の庫倫に於て獨立を宣言せしが他の各蒙古王も贊成せしと宣言に反對者多かるべし

▲南京の邦人無事 南京陷落後に於ける同地在留の日本人は皆無事なり

▲革軍獨人を怨む 革命軍は漢陽陷落武昌孤立の原因は獨逸人にありとして大に憤慨し同國商人に對し占領せる各地に於て排貨を行はんとする形勢あり

▲黎元洪の決心 黎元洪は武昌を固守することに決心し近く官軍と大決戰を行ひ漢陽を回復せん計畫を立て居住人民に告示して避難せしめをれり

▲黃興等の計畫 黃興は當分上海に止まり諸般の計畫を督勵すべし而して黃興宋敎仁等は上海に新政府を設置し豫定の計畫を進捗せむとする意思あり

▲革命假政府成る 革命軍は假政府を樹て南京を首府とし黃興を大統領に黎元洪を副大統領に任命せり近く內閣組織されん

▲革軍沙市上陸 在蕪湖奧田領事發沙市にある橋口事務代理よりの電報によれば革命軍の兵士約一千名小蒸氣に曳かれ四川船七八隻にて沙市市街を去る約一哩の地點に約一ヶ大隊を上陸せしめたり

雜報

●地方官廳增員 總督府來年度豫算は地方行政の刷新と產業政策の遂行を趣旨とし各道廳に內地人約三名づゝの增員を爲すと同時に水產農業及林業に對しても夫々技師技手の增員を爲すことに決定したる由にて現在の內地人職員は書記二百五十五人技手三百八十八人なりと

●鮮牛增殖の急務 今四十三年末の調査によれば朝鮮に於ける畜牛總數は既報の如く七十萬三千八百四十四頭の統計を見るも翻て年々の生牛輸出數及全鮮に於ける屠殺數を案ずるに四十三年度內に輸出したる生牛は內地に千三百十九頭露領沿海州に一萬五千百七十八頭淸國に向つて千八百八十二頭合計一萬八千三百七十九頭を數へ其屠殺數に至ては鮮人の肉食に加へて併合後內地人の移住と共に日に月に食用肉の需用を增し實に昨年度の屠殺數十八萬六千頭に上り此外疾病斃死又は調査洩れの分も少なからざるべく合計二十一萬の生牛は年々明らかに消費せらるゝものなるを以て其總牛數に比すれば實に三の壹に相當せり假りに年々二割の子牛を生ずるとするも尙數萬頭の不足となり今後十年を出でずして絕滅を見るなしとせず假りに生牛存在數を百萬頭とするも尙は須らく繁殖を要すべし已に衰退の傾向著しきが上に今此恐るべき消費額を以てす其增殖の急務たる言を待たず加之露領沿海州に於ける一ヶ年の需用だも十五萬頭の上に出で沿海州に於て產出なき爲め近きは朝鮮及滿州遠きは芝罘方面より山東省產を輸入し之を以て漸く軍隊住民の需用に充つるも尙ほ不足して昨今滿州より冷凍肉を輸入するに至れるが如し而して朝鮮は最も接近して有力の位置に居りながら之が需用を充たす能はざるのみならず畜牛衰退と共に全土の消費にさへも警戒を要するが如きは悲しむべき狀態なりと言はざるべからず是れ即ち增殖を要する所以にして當局にては目下之れに付講究中なりと畜產關係の當局者は語れり

●民籍法附則制定 民籍法實施以來朝鮮人にして海外旅行免狀の下付又は自分證明其他の用向きのため民籍謄本の下付を請願するもの漸次增加するも右に關し民籍法に何等規定なきを以て今回府令を以て民籍簿閱覽其他に關する規定を制定發布したりと云ふ

●半島の樹木種類 朝鮮に於ける樹木の種類は五百種以上あり內地に比して敢て多からざれども世界の大勢より見れば敢て少數にはあらざるが要するに東洋は世界列國中最も種類に富み而して其の種類の多きは日本を以て最とせるが更に朝鮮に於て八米突以上の喬木を揭ぐれば針葉樹十屬十七種濶葉樹七十屬百五十餘種竹類三屬七種合計八十三屬七十八種にして之れを東洋に於ける百二十六屬五百種に比すれば屬に於て約六割强に相當し居るとのことなり

●移入貨物荷造注意 近來內地商人より朝鮮に向け送る貨物の荷造り甚だ粗末にして之れが爲荷受主の迷惑するもの少なからず延いて出荷主の損害となるに付釜山稅關檢查課長西川新五郎氏は此程神戶大阪兩商業會議所を訪ひ左記の件一般商人に警告せられんことを依賴せり

（一）荷造不完全にして到着の際貨物の破毀せる爲め苦情を釀し出貨主も荷受主も損害を蒙むること尠なからず故に出荷に際しては十分荷造方を完全にすること

（二）インボイスの樣式區々にして價格を殊更に低くするの弊あり之が爲め稅關にて强制的に評價課稅するに至る是等は初めより正當なる價格を付するを要す

（三）貨物の價格には運賃荷造費を込めて記載すべき筈なるに之を含まざるものあり課稅の際手數を要するにつき出貨の際注意すべき事

（四）貨物及び外箱に番號を付せず番號あるも區々にして取調の際非常に手數と時間を要するにつき番號順に箱に納め荷造するを要す

（五）貨物名に往々當て字を用ひ判斷に苦しむものあり是亦注意を要す

以上は單に出貨主の心得べき事なるも朝鮮側の荷受主も豫めこれ等の事を注文先に注意しおくときは相互の迷惑少なき譯となる次第なり

●鐵道院の列車と半島鐵道 鐵道院にては明年五月を期し東京、神戶間の列車運轉時刻改正をなす筈にて目下中部、西部兩管理局に於て打合中なるが其骨子ともいふべきは午前八時卅分新橋發神戶行及び午後七時四十分神戶發新橋行兩最大急行列車を新橋下關直通急行列車に變更する外二三長距離列車の異動をなす筈にて東海道、山陽兩線に接續せる中央線、關西線、北陸線、京都線、阪鶴線、播但線、宇野線大嶺線等何れも變更せらるべく而已ならず延て九州線及び關釜間聯絡船の運航並に朝鮮鐵道時間にも改正を見るべき次第にて今回の改正は國有以來始めて見る大改正なりと

●朝鮮海捕鯨數 昨年十月より四月迄七ヶ月間に於ける朝鮮海の捕鯨成績は昨年より稍不良なりしも合計三百三十六頭にして此價格二十六萬八千六百六十二圓餘なりと云ふ

移入超過と半島經濟（二）

△竹山一銀支配人曰く予の意見を以てすれば輸移入超過云々と云ふよりも當面の問題とすべきは現在に於ける朝鮮の輸移入額が極めて多いといふことは將來に於て夫れと同額若くは以上の輸移出を爲し得るの性質を有するや否即ち今日の輸移入品の品種が生產的のものか消費的のものかを研究せざるべからず茲に於て理路は自然に朝鮮の經濟的事業の傾向が輸移出奬勵といふ方針に傾きつゝあるや否やを觀察せざるべからざるに至る即ち今日朝鮮經濟界の資本消費の用途が將來の輸移出增加を惹起せしむべき性質のものか否やを觀ざるべからず而して現下朝鮮に於て最も多くの金を費すは總督府たりの理由よりして先づ總督府自身の夫れを見ると總督府に於ては龍山に於て軍司令官々邸二ヶ所を新築したるも斯の如きは輸移入超過の導因となるべきも決して輸移出增進の奬勵とはなり得べからざる事業に屬す是を以て總督府に於て幾百の新事業を起すと雖も其の性質にして斯の如き官邸建築等のものならんには毫も輸移入增進に效果なきを以て世上識者等が總督府事業の內容に就て調査するが如き極めて必要たるべきを思ふ又た此際我々金融業者の立場よりして朝鮮銀行に希望すべきは朝鮮今日の狀況より見て其の將來に於ける輸移出額を增進せしむべき最捷徑としては現在に於ても輸移出品の重要位置を占むる米及大豆の輸移出を益々盛んならしむべきで現在に於ける此等の主要輸出先たる日本內地は勿論更に其の範圍を擴大して昨今漸く籾の輸出旺盛なるに至りたる浦鹽斯德、日本人移住民の劇增したる滿洲各地にも盛に販路を擴張して朝鮮米の輸移出を計ることゝなるが滿洲各地の如き朝鮮とは異り銀本位なるを以て米價回收等の場合に於て爲替取組上吾人は少からざる不便を感ずること多し朝鮮銀行が中央銀行としての外一面に於て正金銀行たる性質をも兼ね且つ苟しくも國庫より多大の補助金を受けをる以上は盛んに滿洲各地島港等へ支店を新設し以て爲替取組等の不便を除くことも朝鮮將來の輸移出力增進に鮮少ならざる效果あるべきを思ふ云々

●定例長官會議 五日總督府會議室に於て定例長官會議を開き山縣總監、石塚、倉富、宇佐美、小松、菊池、俵の各長官、岡本、鈴木、山形の各長官代理等出席し十時より十一時半迄政務に關し協議したり

●敎育會幹事會 五日午後六時より南山町の高等女學校に於て朝鮮敎育會幹事會を開けり

●商工調査幹事會 京城商工調査會は五日午後六時より會議所樓上に同會幹事會を開き出入貨物通關手數其他に關し協議會を開くべし

●鎭南浦と淸國動亂影響 最近 十一月末日其筋にて調査せし鎭南浦に於ける淸國動亂の影響左の如し

△金融上の影響 革命黨の芝罘占領は不穩裡に行はれたりと雖も當港在留淸國人は同地方のもの頗る多數を占むるを以て漸く不安の念に驅られたる結果當港淸國人間金融上に何等かの變調を來たしたらんと豫期したるも事實は全く之れに反し平穩にして何等異動を來たさず然るに南滿地方就中安東不穩の報一度傳わるゝや同地方と取引して密接の關係なきに拘らず在住上海淸商と認めらるゝものゝ間には稍や不安の念を起せしものゝ如し是れ畢竟比較的接近したる地方の出來事なるの故なるべきか然も尙ほ未た金融上格別の影響を認むるに至らず

△同取引上の影響 淸商間商取引の狀況に關しては何等異狀を認めざるも頃日來淸商の鮮人又は內地人に對する取引は可成現金を希望する傾を生ぜしは疑なし然れども取引慣習は到底急變せられ得べきものに非ざるを以て未だに從來の慣習に著き變化を來すに至らず

△海運界の影響 何等影響を認めず

△輸出入貨物に及ぼす影響 當港出入貨物は未た直接淸國動亂の影響を認むるものなし然れども淸國生產品及淸國經由外國品に至りては市價總じて三分乃至五分方騰貴をなせり就中山東產絹織物に於て著しきを認む中淸經由英獨製品及山東產品悉く騰貴の趨勢を呈せしは各品別に觀察せば他にも相當原因あるべしと雖も大体に於ては全く事變による影響に外ならず

●濟生院收容員數 十一月末日現在當地濟生院養育部收容の總數八十六人にして內三才以上十才未滿十一人十才以上十五才未滿三十九人十五才以上二十才三十二人其他四人なりと云ふ

●聯合商議列席者消息 既報京城日本人商業會議所副會頭深水淸氏は東京に於て催さるゝ聯合會へ出席のため二日夜東上の途に就きたるが同氏は五日朝東京に着し直ちに聯合會に出席せし旨五日午後當地會議所に電報ありたりといふ

●東拓移民地施設（承前）

▲衛生上の設備 衛生上の設備としては嚴に總督府並に軍司令部に請ひ慈惠醫院員地方駐劄軍附衛生部員及警察囑託醫に囑して移民の健康診斷及診察治療等を受くることゝなりたるが收容移民多數に上る場所には特別の設備をなすべき方針にて榮山浦には日本人會其他の公私團体と申合せ醫師一名を囑托常置せり尙ほ飲料水の不良又は不足する地方には飲料水及灌漑水供給の爲め堀拔井戶を堀鑿する計畫にて現に千葉縣知事に依賴して上總堀の職人二組を渡航せしめ榮山浦及沙里院方面に分ちて既に鑿井に着手せり

▲宗敎上慰安の設備 宗敎上の慰安を與ふる爲めに豫に本願寺朝鮮敎務總監に交涉し同寺に於て適宜施設を爲すべきことを約したれば會社は之れと相俟ちて相當の方法を講ずべく斯くの如くにして移民者に永住土着の基礎を作り安心立命の地步を與へん計畫たり

●平北最近狀況 田邊平安北道長官より其筋に報告せし同道と支那動亂に關する影響を記せば△支那に於ける通貨の內圓銀は今尙當地方にて民間に受授せられたるも銀塊相場の上騰に伴ひ當方面に存在せる該貨は地を拂ひ去り今や殆んど片影を認めず昨今相場は八十七八錢を唱へり△當地方產の所謂博川大豆は西朝鮮に於ては黃海道安岳產に次ぐ良品なるが安岳大豆今秋不作の爲め例年同地に於て買込みに從事せる當浦の同業者は專ら當方面に着目し頻りに大豆の買付を試みつゝありと一面支那變亂の影響にて相場漸次强含みとなり目下石六圓五十錢を唱へしも一向出荷なく買方は何れも手持無沙汰の氣味なり△當管內に於て淸國輸入品としては燒酎を以て主なるものとす然れども本品は安東縣より輸入するを以て未だ何等の影響なし

●京城民會開設 京城民團にては六日午後三時より民會を開く由なるが議案は豫て委員附托となり居りし獸場經營及び元龍山病院家屋使用の件共原案通り可決せらるべしとのことなり

●東拓新築落成式 東拓會社にては新築社舍略ぼ竣成を告げたるを以て十二月二十四日官民の重もなるものを招待し盛んなる落成式を擧行する由にて目下餘興等につき準備中なるが移轉は內部の工事終はらざる爲め來年一月初旬頃なるべしといふ

●慶南煙草作況 過般慶尙南道煙草作視察中なりし松本技手に其作況を聞くに視察中煙草作の盛なるは安義居昌咸陽郡方面より縣陽金海河東郡の一部地方なるが本年は雨量過多の爲め一般に結果不良不作にて先づ七分作位なる可く賣買價一貫目五六十錢なるが栽培者は概して收支は償ふ可き模樣にて慶南鮮人一般の需要を充しつゝあり

●朝鮮「十二月號」 號を重ぬる毎に內容も充實し來たり資材も多方面に亘りて看過すべからざる有益なる文字饒多なり本號所載の重なる讀物は旭邦氏の主張『支那革命の前途と革新の機運』『滿鐵と東拓』『滿鮮の聯絡成る』等簡明にして雄勁會心の好文字なり論說には岡崎遠光氏の『朝鮮人の實科敎育』石田視學官の『朝鮮人敎育の主眼』其他研究訪問談叢雜纂文苑調査資料等の各欄朝鮮經營に志ある者の一讀せざるべからざるものあり（一冊二十五錢日韓書房にあり）

●山縣總監の晩餐會 山縣政務總監は七日午後六時より總督官邸に外波少將及同夫人を招き送別の晩餐會を開かるゝ筈なるが各部長官、秘書官及佐竹、津輕氏等も出席すべしと云ふ

●軍司令官の招宴 上田軍司令官は來る八日午後五時半より外波武官の送別會を兼ねて在京の文武高等官を大觀亭に招宴する由なり

●明石總務長官の歸任 東上中なりし明石總長は五日午後八時十分南大門着の列車にて歸任せり

●山縣少將着任期 新任總督府附武官山縣少將は來る九日午後八時着任の由

●外波少將の送別會 今回海軍省に榮轉したる外波少將は近々出發につき官民有志數十名は來る九日午後六時より京城ホテルに於て盛大なる送別會を催すべしと云ふ

●原島技師の出張 總督府原島農務技師は畜產狀況視察の爲め勸業模範場大邸名倉技師と共に五日平壤へ出張

●鴨綠江の結冰 鴨綠江は江界郡附近に於て既に全面結氷したり然れども未だ渡涉する程度に至らず又原昌郡に面する同江は時々氷塊流下して渡船の交通杜絕せり

●秋山參事官夫人の訃 秋山參事官夫人あさ子は病氣のため赤十字病院にて療養中なりしが四日午前十時遂に死去されたりと云ふ

公人私人

▲柴田榮吉（三井山林課長） 四日投宿天眞樓

▲江田甚熊（鐵山技師） 四日東洋館へ

▲高崎親和（全南水利組合理事） 四日不知火へ

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
十二月五日	六七八、四六一、六〇〇	九二三

▲茶袋▼

南滿鐵道附屬地に潛伏し革命黨の一人なりと自稱してをつた王克忠は、日淸の國交を害する擧動をするので、我官憲は彼に對して附屬地外へ退去を命じた▲トコロが飛沫を食つて諭示退去といふ難有からぬ處分を受けた日本人が十三名に上つた▲此十三名の邦人は何れも多少の敎育を受けてをる輩で、支那の動亂に附け込み何か一儲けせようと云ふ考から、王克忠と懇意にし彼が革命軍と氣脈を通じてをるといふ事を眞に受けて、彼を煽動しつゝあつた、所謂似非慨世家の浪人共であるそーな▲ヤレ黃興とは知り合ひの中だ革軍の意氣や愛すべし彼をして成功せしめざる可からずなぞ、口でこそ立派に吹聽をすれ、此際支那に入込んでをる連中には、偸の如き火事泥的行爲を目的としてをる者が少くないこれだから我輩は始めより第三者國民として輕擧妄動を愼み冷靜に事の成行を觀るがよいと警告をつゞけてをるのだ▲革命軍は漢陽戰の大敗北を目して獨逸人が官軍の尻押をした結果であるといつて、大に獨逸人を怨み本日の電報にもある通り占領地內で獨逸品不買同盟を企てゝをるそうだ、兎角第三者の地位を嚴守せぬと這麽結果を見ることゝなる。



チャンピオン傳（五）

特許辯護士 小川勝平君

小川君は本町一丁目に其事務所を置いて信託業を兼ねて居る事は事新らしく披露しなくとも知り切つた事實である、商業會議所議員として論議する時の如き法廷に立つたと同じく堂々議論に花を咲かせる、處地は當地に於て市の利く方、大分縣は北海道大在村で當年三十六歳、明治三十六年度の明治大學卒業の特許辯護士である、辯護士高橋章之助君と共に當地に於ける明治大學校友の幹事として校友大に勤めて居る、明治三十七八年の日露戰役當時は臨時軍司令部附經理部の主計として當地に在たが滿期退役後の三十九年春再び渡鮮して特許辯護士の許可を得て今日に及んで居るのだ、信用があるから從て事件の依頼者も多い、夫人のことは昔から女房子供つて紹介された如く當年二十八歳の女盛りの美人である、目下夢中のお稽古中とてロマンシャンの事が溜まるとお屑なある、教育のあるから所爲か小川君が熱遊びをしても嫌な顔の一つもせず御座いませんと濟して居るから、勝平君は夫れを善い事にして安心して其所邊一面撒き散らかすと云ふ不心得な加減主に不心得の選手たる資格は十分であるから此段の不心得は少しでも早く心掛けて預つて戴く事にしたら何うだらうか、君は依頼された訴事が可成ならば和解させる様に心掛ける和解主義の主唱者だ、過般藤富國牛乳部對當地同業者間の爭議の如きも君の仲裁に依て和解された、爭論の當事者もつと方法もある事件であつたと云ふ、一寸した例が困つて居る人を見ると保證人になつたり手形の裏書を頼まれたりして時々自分が困つて居る、剽家の文之助が拘擧される時なども大に盡力したものだ相だ、然らば世話好のチャンピオンとして紹介しようか併し夫れは平凡であるから平凡ならざる點を紹介する

二歳になる坊ちやん二階から落ちた　五六日前の事で遊んで居た所へ同じ機會であつたに同情を寄せて居ると、一昨日に何處かの格子段の頂邊から眞逆様に墜落た、アナヤと驚いた人々駈け寄つて抱き起すをも待たず坊ちやんはムツクリ起ち上つて『アイタヽ』とニコ〳〵笑つて居る家人は呆れた顔見合せて『ナンテ間が好かつたんでしよう』と安心の胸を撫で下すのを取り付けた勝平君神棚や佛壇に燈火を掲げ其前に平伏し『此れも偏へに八百萬の御神々、諸佛陀の御加護先祖代々の御靈の護らせ玉ふ所に依る、小川勝平謹んで御禮申上奉る、南無妙法蓮華經』一事が萬事だ、以て諸神佛信心家のチャンピオンに推す（終）

玉葉 靜江の自白（六）

▽人身御供は嘘とは嘘

『妾や決して負け各みは申しません全く奥村さんが帯茶事に捕へられなすつた時は何うした事かしらんが氣でなかつたが、照れ恐はれまして』と嬢を凝らせる『全く淚が出ました—人情ですわ』と滋々『夫れから宅に歸つて見ると奥太姐さんはい京姐さんに皆なお話してでしたから御承知の氣や京姐さん全三日間と云ふもの顔を見ても言葉も掛けて呉れないんで何うしようかしらんと泣いて斗り居りましたの……エ、エ何んでも妾が姐さんの顔へ泥を塗つた、踏みつけた仕打だとスツカリ怒つてるんですもの、私をお思ひ呉れゝばこそ、無理もないわ、スルト二十日の晝過ぎ仇吉姉さん三幸姉さん三八姉さんを初じめ一同が集つて榮次姉さんから謝罪ここにして仲裁を入れて下さつたので漸く姉さんも妾の顔を立てゝましょうと云ふ事に落ちたんですよ』と嬉しさうに話す『何日の晩の事でしたか奥村さんが小松總督府の高等官との事で相にニコ〳〵笑つて『何日の晩の事でしたか、小松長官は御存じ、て開かれて居りまして、小松か小松は僕の隣室に居られました、妾總督せ何だか可笑しい様に思ひましたが、何ですから新聞を見て驚いて了ひましたワ〳〵此れから決して他人の口車には乗りません、ホントに濟みませんことを致しました』と長物語りを終つた彼女がホツと一息吐いた、仲居は靜江に向つて『飛んだ御迷惑でしたね』と大に同情を寄せて居る、午後九時、何處から聞きつけたか僕の室を襲ふた二人の紳士があつたので今迄澁つて居た座敷も大陽氣になつた（終）

神佛信心家のチャンピオンに推す（終）

歳暮の贈答品（一）

——各商店主の談——

歳末も近づき市中は聯合大賣出しの旗幟灯籠賑々しく頗に活氣を帶びて來た巷往き來ふ人も何となく忙がしげに見ゆる歳暮贈答品に就ては奥様方も彼れか是れかと思案の首を傾けてゐるのも少なくあるまい元來此の種の贈答品は可成贅澤品を避けて實用向きの品が一般に喜ばれるのだ貰つて難有くない却つて迷惑に感ずる物もある先方に小兒の有無や昵近の間柄なら平素の趣好物に注意を拂ふのも必要である處で先づ洋雜貨洋酒類と云つた方面から景況を聽いてみた洋酒洋雜貨菓子類等は各店大抵相場が一致してゐるから一括して摘くと赤葡萄酒が一本八十錢から六圓白が一圓三十錢から四五圓ブランデーが一圓五十錢から十二圓ウイスキー一圓四十錢から二圓五十錢葉捲煙が二十五本二圓乃至十圓五十本三圓乃至八圓百本二圓三十錢乃至七圓で金口は少々廢り加減ながら百本九十錢から四圓五十錢といふ處洋菓子は佛のジャックイン會社が森永製を漸次壓倒してゐるが之れは森永のが○惡なのと比較的不廉なるに因するとかビスケットは七十錢から三圓なり

▲青木堂　未だ少し早いので客足は稀れですが先づ歳暮の贈答品としては赤白葡萄酒、ブランデー、ウイスキー、洋菓子、ビスケット、葉捲煙ですクラスマスセットは本年初めて直輸入しました種々珍奇なのが多い殊にポーデングは之れも初めて弊店で作るので十日前に御注文を頂かないと間に合ひません

社告

稿の御寄贈

鳥兎匆々愈極月と相成本紙新年號準備の期も愈相近かづき申候就て本紙が此際愛讀各位に御願致度は本紙新年號に掲載すべき各位玉稿の御寄贈に候其玉稿の論文たると將た美文たるとは詩、歌、俳句情歌端歌たるとは各位の御隨意にして本紙は硬軟何れをも歡迎仕候

新年畫附録

本紙新年附錄は本紙が特に邦畵の大家川端玉章翁に依囑して成りたる勅題松上鶴の祝畵にして其高尚優美なるは贅言を要せずと確信候

十二月 京城新報社

龍山 清水湯内の格鬪

▽水を掛けた掛けぬで

四日午後五時頃龍山祝町清水湯内に於て傷害事件ありたり加害者は京城郵便局電氣發動係職工大阪市生れ上山彌一郎（二六）にして被害者は龍山祝町六十八番戸居住製紙會社員中桐榮太郎なるが傷害事件の原因及動機を聞くに加害者は元製紙會社技師上山彌藏の三男にして被害者榮太郎は從前より彌藏と共に製紙會社に勤務中なりしに彌藏は本年三月南部警察署に横領詐欺取財犯として檢擧され遂に豫審に廻り結審なる取調の結果免訴となりしも數ヶ月間未決監に拘禁せられしは畢竟中桐榮太郎の密告が檢擧の原因なりとし彌藏は勿論加害者たる彌一郎等も恩料し居りたるものゝ如く出會の都度何かと議論する事も屢々ありきと然るに現行當日彌一郎榮太郎は相前後して清水湯に入浴に行き浴場にて双方共身体を洗ひ居たるに榮太郎は彌一郎に對し君は僕に水を掛けたな失禮なと言葉を荒らげしより互に口論の末格鬪を初め彌一郎は湯桶を手に取り榮太郎の面部を毆打し治療三週間を要する負傷を負はせたるより被害者榮太郎は南部署に告訴せしより目下取調中なりと

仁川の强盜傷人

▽剩錢を渡はんとて

去二日午後八時頃仁川多所面飛龍里酒人農王忠奎（四四）方に一名の日本人至り大根を買はんと交渉し既に契約成立せしを以て王忠奎は代金を請求したる處日人の曰く吾の所持金は十圓紙幣なれば剩錢を出せとのことに王忠奎は剩錢を出し膝の前に置きたるに日人は十圓紙幣は扨て置き一錢も出さぬより該剩錢を仕舞はんとせしに日人は直ちに携帶せし仕込杖を抜放ち王の後頭部目懸けて斬付け長さ八仙米深さ三分の斬傷を負はせたるに王は鮮血淋漓とし迯り共場に打倒れ人事不省に陥りたる騒ぎに附近の者が發見し直ちに北筋に急報し被害者は仁川病院に收容し應急手當を施しつゝあり多分生命には差支なからんとの事なり該犯人行爲は多分金錢を強奪せんの意志なりしならんと目下仁川警察署にては犯人の嚴探中なり

紛失物は生物

▽所天の不在に持逃げ

京城龍山老松町百十九番戸土木請負業松本利一内縁の妻坂本やす（二〇）は四日夜七時頃夫の不在に乘じ夫の貯印貯金通帳、純金指環其他洋服衣類數點を取纏め家出せし儘歸宅せず何れに姿を隱せしものか不明なるより利一は可愛き女房に逃げられ目下東奔西走行衛搜索中なりとは氣の毒の次第なり同人は中脊にして顔長く眉毛、耳鼻並目細く中肉にて色餘り白からず着衣は黒羅紗のコート茶色縞木綿袷等を着せりと

壯俳の郵便法違反

▽小包中に封書を封入

御成座内伊優塚本彦人事鈴木和芳（二五）は本年九月一日滿洲鐵嶺地方に於て芝居興行當時京城本町七丁目居住妻君代に宛て小包郵便を發送するに際し封書二通を包込みありしを關稅檢査の際發覺し京城郵便局長より郵便法違反として告發され京城地方裁判所に於て野田檢事の手にて取調中

仲居評判記

精養軒のお糸

藝妓の評判は事珍らしくもなし偶には仲居衆の評判も聞せて呉れとの御注文に從ひ第六番に披露仕るは精養軒と申せば料理界御承知の近頃賣出しの繁昌なお茶屋で御座る、ナニ斷るのが野暮だと仰云るか野暮は拙者の生命で御座る、東西ッ、穴は省いてお糸さんは山口縣吉敷郡森町の生れで本名お佐賀ひさ子と申し當年正に二十四歳、決して美人だとは申し上げぬが又美人だと褒められたら御迷惑で御座らうと察し申して夫れは扨措き次第でムるが常にニコ〳〵と何處となくある愛嬌がお糸さんの身上である、俐巧で正直だから主人の受けも客受けも共に宜しい、仲居頭兼の集金掛りだから毎月末から翌月の十日頃迄は集金專門で朝の十時頃から夕刻まで雨だらうが風だらうが一切お構ひなし取立帳を片手にズックの合財袋をブラ提げて東西南北に飛び廻つて居る、他所さまは如何か存じませんが手前共のお客様は皆二言となしにお拂下さるので主人も大悦びでムいますと云つて居るが彼のギヨロ〳〵した刑事巡査の様な眼がタマにキヅである、少々勿卒かしいのもタマにキヅだ……大膽ヤツの多いタマだなんて冷評す可らずだ、一例を擧げると下駄を穿いて入來したお客様に草履を穿かす如な事はチヨイ〳〵ある、併し當今は注意してるので左樣なことはタンと無い相である、兎に角若いに似合はぬシツカリした仲居さんであります（終）

沖津等公判期日

仁川水産株式會社專務取締役沖津戸十郎同會計役片川傳藏に對する横領罪の公判は來る八日京城地方裁判所仁川支部法廷に於て開かる右被告辯護人は中川薫洲、大崎熊之丞、北島邦、石塚京弌の四氏なり

●長唄大會　常盤津林彦唄連は來る八日壽座に於て大會を催すとの事なるが詳細は後報すべし

●百合正宗京城支店　兵庫縣灘魚崎江井ヶ島酒造株式會社にては今般京城南大門通二丁目に百合正宗京城支店を設置し當分の内自家醸造に係る清酒百合正宗、壽盛、菊正宗、櫻盛の特價大賣出しを爲しつゝあり猶一升以上の買上者には開店披露の印として景品を進呈すべしと電話一五一五番

●狂犬にては無きか　加町二丁目六十八番戸井上孝藏氏二女ミエ子（一〇）三女トロ子（五つ）は四日午前十一時頃不二屋旅館前にて飼主不明の畜犬に傷さる

●殺人犯和田の公判　仁川築港工事場に於て殺人せし和田鹿藏の公判は六日京城地方裁判所仁川支部に於て開かる

●新種長命菊苗の分配　福壽草と共に其名愛らしく新年用床かざりに適する英國産長命菊最大輪咲及二精咲は未だ普及し居らざる新種なるを以て岡山縣邑久郡長船農事試驗場は是れを一般へ配與すべく送費荷造費切手十錢を送れば取合せ三株を何人にも直に送與する由通知ありたり

●優美福壽草の苗　古來より御目出度草花として新年に賞美せらるゝ珍花福壽草の特産地たる信濃國高井郡延德村の高井農社にては新年元旦の飾花用として十二月下旬頃より開花すべき珍花優雅八重咲等五本宛を一鉢分とし一鉢分毎に送料箱代共實費として廿錢宛を送る同好者には明細なる培養法を添へ直送する由なり

演藝だより

▲歌舞伎座　中村歌玉一行六日の狂言は前『石川五右衛門釜間合戰』切『伊勢音頭十八人斬油屋の段』なりと猶破格の大勉強にて特等を五十錢とし金七錢の金口貨を進呈し上場三十錢入場の方へは金五錢の錦袋印貨を進呈すと

▲浪花館　若遊三一行の落語、手踊り

廣告

購買入札公告

一四百砲硬銅線外二十九點

右購買ス詳細ハ十二月五日ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ

朝鮮總督府通信局

